

日本共産党 八幡市議団ニュース

2020年11月15日 No.717 発行：日本共産党八幡市議会議員団

◇TEL075(983)2005 ◇メール jcp-ywta@am.wakwak.com

ホームページは「JCP八幡市議団」で検索または下のQRコード



連絡先

山本邦夫(982)8844 ★くらしの相談、お気軽に
巖 博(982)9663 亀田優子(982)1277
中村正公(983)8312 澤村純子(983)6275

コロナ危機から青年・学生を守れ

食事抜き 解雇...

民青同盟が青年生活実態調査と要望

学費減免、奨学金、生活支援、雇用調整助成金など
政府は具体的な手立てを

日本民主青年同盟はコロナ禍でおこなった約1万人の青年生活実態調査を発表しました。学業や雇用の危機に直面している事態を打開するため、文部科学省と厚生労働省に緊急要請をしました。

減収と奨学金返済で余裕がない

調査は32都道府県、103カ所で行った食糧支援(延べ296回)や学校、職場で集めたもの。

京都でも、「親の残業代が減り、生活が苦しい。食費を削っている。交通費も大変」(高校生)、「業績悪化で会社の存続が不安。冬や来年度はボーナスなしだといわれた」(印刷会社)、「受診控えで残業が少なくなり、手取りで5万円減収。月2万円の奨学金を返済し、生活費を払うと余裕がなくなる」(医療現場)など、各分野から悲鳴の声が起っています。

オンライン、リモートワークで支出増

学生支援緊急給付金や授業料免除の支援策は、親の所得が基準となり受けられないケースも続出。大学でのオンライン授業が増え、「オンラインの設備の費用で10万円の給付が全部消えた」「図書館が利用できず卒論が書けない」など。

「在宅勤務のためパソコンを自腹で購入。補助もないので生活費を切り詰めて生活しています」などリモートワークによる支出増も重荷になっています。

<学生生活>

- 月5万円あった収入がゼロに。仕送りは家賃に消え、生活費が減るばかり。
- 1日1食、軽いシリアルなど最低限のものを食べている。パン1個の時もある。
- 給付金を口座に預金していたが、授業料減免が不可になり授業料として引き落とされ生活に困っている。中退しなければならない。
- アルバイトは5月に解雇。後期授業料は5万円免除されたが、残り80万円を払わないといけない。大学に通えるか不安。

<働き方>

- 使用期間終了時に退職勧奨を受け自主退職。実家で暮らしている。
- 残業代で食べてる給料なのでつらい。ボーナスはもっと下がる。
- 会社が給与を払えなくなり退職。就職活動しているが募集が少ない

これでは暮らせない、学べない

働き方を人間らしく

「オール野党」で
政権交代を

8時間働けば普通に暮らせる社会へ